

地上デジタル放送の普及により 安心・安全、豊かな生活に貢献

関東総合通信局放送部放送課長

茅野 民夫



住民に地デジを確実にお届けする業務

地方総合通信局の放送課では、地元のテレビ局やラジオ局に関する許認可業務に加え、ここ数年は地上デジタル放送の普及に重点的に取り組んできました。テレビは生活に欠かせない存在であり、特に災害時には大変重要な役割を果たします。アナログ放送が終了したらテレビが見えなくなったという世帯が生じないように、受信エリアの拡大や住民の方々への周知を行ってきました。現在はアナログ放送は終了しましたが、電波が届きにくい地域への対応に引き続き取り組んでいる状況です。放送事業者の方々と一緒に現地に赴いて具体的な受信方法や補助金のご説明をするなど、丁寧な対応に努めています。

地域事情に応じた創意工夫

住民の方々には中継局やケーブルテレビなどの整備状況を踏まえた受信方法を提示するよう心がけています。そのために、地方局が中心となり地元の放送事業者、自治体等による検討体制を構築し、個々の地域ごとに最も適した受信方法を検討するとともに、それぞれの立場に応じて役割分担を行い効果的に住民対応を進めています。地デジに限らず、地方局では地域の実情を踏まえて創意工夫により業務を進めることが大切となります。特に関係者との調整は簡単ではなくなかなか思い通りには行かないのですが、本省とは一味違う達成感、やりがいを感じることができる部分かと思えます。

安心・安全で豊かな生活にも貢献

情報通信行政では地デジをはじめ時代の最先端を行く分野を扱っていますが、一方で生活に密着した分野でもあります。地方局で住民の方々とは接しているとそれが本当に実感できます。難視聴地区内のお年寄りの方から「テレビだけが楽しみ」という話を聞くと、これは真剣にやらなければならぬぞという気持ちになります。住民の方々に安心・安全で、そして豊かな生活を送っていただくための仕事、是非そうした観点からも、情報通信行政、そして総務省に魅力を感じていただければと思います。

PROFILE

平成7年4月 郵政省採用
平成13年1月 総務省情報通信政策局
情報通信政策課
コンテンツ流通促進室
平成14年8月 情報通信政策局
情報通信政策課
コンテンツ流通促進室
コンテンツ企画係長
平成16年7月 情報通信政策局
総務課総括係長
平成19年7月 情報通信局
地上放送課計画係長
平成21年7月 現職

とある一週間

- 月曜日** 週初めの定例会議。誰がいつまでに何をしなければならないのかを確認しておくことが管理者としてとても大切。
- 火曜日** 埼玉県内の難視聴地区で住民説明会。付近の電波の状況を説明し、補助金を活用して裏山にアンテナを設置することで合意。
- 水曜日** 出張の翌日はメールの量が膨大。まずは本省から重要な指示がなされていないかチェック。見逃すとんでもないことに。
- 木曜日** デジタル中継局の免許など許認可案件決裁。法令に基づき厳正に審査。午後は東京スカイツリーの状況について放送事業者から説明あり。
- 金曜日** 甲府市で山梨県の放送事業者と難視聴対策会議。地区ごとに最も適した地デジの受信方法について議論。昼食は特急あずさで駅弁。
- 土・日曜日** 子供たちはサッカーが忙しいらしくなかなか遊んでくれません。そこで録画したテレビ番組をまとめて視聴。やっぱりテレビはいい。



休日の筆者(高尾山にて)